

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 2 日 (2005.6.2)

【公開番号】特開 2001-312433 (P2001-312433A)
 【公開日】平成 13 年 11 月 9 日 (2001.11.9)
 【出願番号】特願 2000-130493 (P2000-130493)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 13/00

G 0 6 F 3/00

【F I】

G 0 6 F 13/00 3 5 7 A

G 0 6 F 3/00 6 5 2 A

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 8 月 19 日 (2004.8.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ネットワークを介してデバイスと通信し、表示部を備える情報処理装置において、複数のデバイスドライバを記憶する記憶手段と；

上記記憶手段に記憶されている複数のデバイスドライバ毎に、当該デバイスドライバに対応するデバイスが、ネットワーク上に存在するか否かを判定する判定手段と；

上記判定手段が、上記記憶手段に記憶されているデバイスドライバに対応するデバイスが存在しないと判定した場合、当該デバイスドライバに対応するデバイスがネットワーク上に存在しない旨を上記表示部に表示し、上記判定手段が、上記記憶手段に記憶されているデバイスドライバに対応するデバイスが存在していると判定した場合、当該デバイスドライバに対応するデバイスが存在している旨を上記表示部に表示する表示手段と；

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、

上記表示手段は、上記デバイスに対応するプリントサーバが機能していない場合、上記デバイスが使用不可能であることを表示する手段であることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 において、

上記表示手段は、上記デバイスが使用不能であるのは、プリントサーバが機能していないためであるのか、デバイス自体が使用不能状態であるためであるのかを識別可能に表示する手段であることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 請求項 3 のいずれか 1 項において、

上記デバイスの稼動状態が変更された場合、上記デバイスと通信して接続状態を示す情報を取得する取得手段と；

上記取得手段が取得した情報に基づいて、上記表示手段に表示されている稼動状態を更新する更新手段と；

を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 5】

ネットワークを介してデバイスと通信し、表示部を備える情報処理装置の制御方法において、

複数のデバイスドライバを、メモリに記憶する記憶工程と；

上記記憶工程で記憶された複数のデバイスドライバ毎に、当該デバイスドライバに対応するデバイスが、ネットワーク上に存在するか否かを判定する判定工程と；

上記判定工程で、上記記憶工程で記憶されたデバイスドライバに対応するデバイスが存在しないと判定された場合、当該デバイスドライバに対応するデバイスがネットワーク上に存在しない旨を上記表示部に表示し、上記判定工程で、上記記憶工程で記憶されたデバイスドライバに対応するデバイスが存在していると判定された場合、当該デバイスドライバに対応するデバイスが存在している旨を上記表示部に表示する表示工程と；

を備えることを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項 6】

請求項 5 において、

上記表示工程は、上記デバイスに対応するプリントサーバが機能していない場合、上記デバイスが使用不可能であることを表示する工程であることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 7】

請求項 5 または請求項 6 において、

上記表示工程は、上記デバイスが使用不能であるのは、プリントサーバが機能していないためであるのか、デバイス自体が使用不能状態であるためであるのかを識別可能に表示する工程であることを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項 8】

請求項 5 ～ 請求項 7 のいずれか 1 項において、

上記デバイスの稼動状態が変更された場合、上記デバイスと通信して接続状態を示す情報を取得する取得工程と；

上記取得工程で取得した情報に基づいて、上記表示工程で表示された稼動状態を更新する更新工程と；

を有することを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項 9】

ネットワークを介してデバイスと通信し、表示部を備える情報処理装置を制御するプログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体において、

複数のデバイスドライバを、メモリに記憶する記憶手順と；

上記記憶手順で記憶された複数のデバイスドライバ毎に、当該デバイスドライバに対応するデバイスが、ネットワーク上に存在するか否かを判定する判定手順と；

上記判定手順で、上記記憶手順で記憶されたデバイスドライバに対応するデバイスが存在しないと判定された場合、当該デバイスドライバに対応するデバイスがネットワーク上に存在しない旨を上記表示部に表示し、上記判定手順で、上記記憶手順で記憶されたデバイスドライバに対応するデバイスが存在していると判定された場合、当該デバイスドライバに対応するデバイスが存在している旨を上記表示部に表示する表示手順と；

をコンピュータに実行させるプログラムを記録したコンピュータ読取可能な記憶媒体。

【請求項 10】

請求項 9 において、

上記表示手順は、上記デバイスに対応するプリントサーバが機能していない場合、上記デバイスが使用不可能であることを表示する手順であることを特徴とする記憶媒体。

【請求項 11】

請求項 9 または請求項 10 において、

上記表示手順は、上記デバイスが使用不能であるのは、プリントサーバが機能していないためであるのか、デバイス自体が使用不能状態であるためであるのかを識別可能に表示する手順であることを特徴とする記憶媒体。

【請求項 12】

請求項 9 ～ 請求項 11 のいずれか 1 項において、

上記デバイスの稼動状態が変更された場合、上記デバイスと通信して接続状態を示す情報を取得する取得手順と；

上記取得手順で取得した情報に基づいて、上記表示手順で表示された稼動状態を更新する更新手順と；

をコンピュータに実行させるプログラムを記録したコンピュータ読取可能な記憶媒体。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

本発明は、ネットワークを介してデバイスと通信し、表示部を備える情報処理装置において、複数のデバイスドライバを記憶する記憶手段と、上記記憶手段に記憶されている複数のデバイスドライバ毎に、当該デバイスドライバに対応するデバイスが、ネットワーク上に存在するか否かを判定する判定手段と、上記判定手段が、上記記憶手段に記憶されているデバイスドライバに対応するデバイスが存在しないと判定した場合、当該デバイスドライバに対応するデバイスがネットワーク上に存在しない旨を上記表示部に表示し、上記判定手段が、上記記憶手段に記憶されているデバイスドライバに対応するデバイスが存在していると判定した場合、当該デバイスドライバに対応するデバイスが存在している旨を上記表示部に表示する表示手段とを備える情報処理装置である。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正６】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2】

